

子ども達が理科に興味と関心を持ち学ぶ意欲と表現力のアップが感じられた

NPO 法人マザーリーフ(理科大好き養成講座)

活動の目的

岡山県内の小学生の理科学力、表現力およびプレゼンテーション力の向上を目的として、小学校などに出向いて出前授業（科学教室）を行った。児童館などでの科学教室は子どもと保護者が一緒に理科の学習が楽しめるように「親子教室」を取り入れた。これは親子が理科を共に学び理科に関する共通の話をする事で子どものやる気を起こさせることを目的とした。授業では画像、音声、動画などで理科力を高め、簡単な実験を取り入れることで理科に対する興味度・学び意欲の向上を目的とした。

不登校の子ども達、重度の障害を持った子ども達が理科の学習が楽しめるような科学教室を目指している。また病院で長期療養中の子ども達の学習支援として教材（動画）を制作して順次提供していく予定である。

活動の内容及び経過

<活動内容>

県内の小学校、児童館、公民館、サイピアなどに元岡山大学教授等による講師とTAが出向いて、出前授業（科学教室）を42回行った。

岡山県学習センター主催の「科学キッズフェスティバル in 京山祭」に出展した。

<経過>

小学校の教科に即して行う出前授業は小学校の指導計画に合わせて行った。

児童館、公民館などでの科学教室は夏休みを中心に行った。

サイピアでの科学教室は連携事業として、毎月行ったが4、5月はコロナの影響で中止した。サイピアでの科学教室では「科学を楽しもう」をキャッチフレーズに親子と一緒に学ぶようにした。

吉備青少年自然の家での科学教室は不登校の子ども達を対象に行った。

活動の成果・効果

小学校での出前授業は年々県内の小学校からの要望が増えてきており、我々の活動が小学校の理科授業において評価されていると感じられた。

授業では子ども達が分かりやすく理解できるように画像、音声、動画、簡単な実験などを取り入れて行っており、その成果として子ども達は理科の学習に興味を持ち理解する力を身に付けたことが感じられた。また子ども達に積極的に質問させたり考えを発表させながら授業を行ったことで、纏める力・プレゼンテーション力の向上を図ることが出来た。

サイピア、児童館などでは親子と一緒に学べるようにしており、そのことで親子の絆ができて子どもの学習意欲の向上と積極性が図られた。

不登校の子ども達に「プログラミング学習」など分かりやすく行ったところ、子ども達の興味度と学習意欲が感じられた。



コオロギの生態(稲倉小学校)



せみの歌とくらし(岡山市西児童館)



雲を作ろう(人と科学の未来館)



岡山県科学キッズ(生涯学習センター)

今後の課題と問題点

岡山県内の小学校からの出前授業の依頼が増えてきている。特に「プログラミング学習」、「生きもののくらし(かぶと虫、セミなど)」などが多いので、講師の確保、日程調整などに苦慮している。

クラス数が多い小学校での出前授業は日期的、回数的に難しいので、クラス合同での授業を行うとか依頼を断っている状態である。また長期入院している子ども達の学習支援においても感染等の問題があるので学習支援ができない状態になっている。

サイピアでの科学教室は毎月連携事業として行っているが参加者が多く定員(30)名で打ち切っている状態である。定員を増やすか月2回行うなど検討中である。

不登校、発達障害の子ども達の学習支援がコロナの関係もあり中々できていないので、個別学習、教材(動画)の提供などを検討している。

- 代表者：石原訓志 ●所在地：岡山市南区浜野
- TEL：090-1186-6173 ●E-MAIL：ishihara@po6.oninet.ne.jp
- 設立年：2012年 ●メンバー数：53名